

静岡県ナースセンター紹介

東西に広い静岡県を本所と
2ヶ所に支所、2ヶ所にサテライトでカバーしています。お気軽においでください。
私たち看護職の相談員が就業のご相談に応じています。

西部支所・天竜相談所



天竜相談所

西部支所から
出張します

東部支所



本所



下田相談所



本所では就業相談員と
一緒に様々な立場から
お仕事を続けられるよう
サポートしています。



事務担当

各ナースセンターの相談時間は9:00~16:00(本所のみ火~木曜日は18:00まで)

本所 TEL.054-202-1761
東部支所 TEL.055-920-2088
西部支所 TEL.053-454-4335

下田相談所 TEL.080-2650-0327(毎週木曜日)
天竜相談所 TEL.080-2650-0237(毎週火曜日)



静岡県ナースセンター

ナースセンターだより **プラス**

看護職のためのナースセンター。あなたのキャリアを大切に看護職がサポートしています。

ナースセンターは♪
し...仕事のことは
ず...ずっと
お...お近くで
か...看護職が
お手伝い♪



令和7年度
届出制度登録者数

416名 (7/31現在)

「石廊崎遊覧船」写真提供/静岡県観光協会

令和5・6年度 新人看護職員アンケート結果 (概要版)

対象 県内150床以上の病院の看護代表者と新人看護職員

方法 令和5年度103施設・新人看護師512名 令和6年度74施設・新人職員が入職した施設431名
令和5・6年度4月に入職した新人看護職員を対象に各翌年1月にアンケートを郵送し回収

回収 看護代表者 令和5年58施設(回収率56%) 令和6年43施設(回収率58.1%)

新人看護職員 令和5年302枚回収(施設依頼総数512枚・回収率58.9%)
令和6年295枚回収(施設依頼総数431枚・回収率68.4%)

看護代表者アンケートから

01 回答施設の状況

01-1

	回答数/ 配布数	400床 以上	150~399床 以上
令和5年度	58 / 103	15	43
令和6年度	43 / 74	15	28

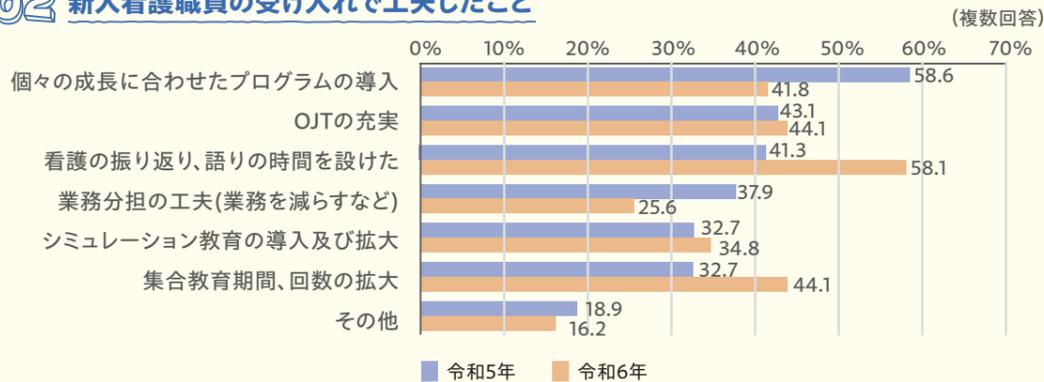
単位:施設

01-2 新人教育体制(複数回答)

	院内 集合教育	部署 教育	eラーニング 受講	新人教育担当者 に対する教育
令和5年度	53	56	47	40
令和6年度	42	43	38	36

単位:施設

02 新人看護職員の受け入れで工夫したこと



03 令和5・6年度 看護代表者からのコメント

OJTにおける指導者側の
教育力の向上をさせたい

Z世代の理解を深め、
楽しくディスカッション形式で
研修を考えたい

新人教育の中に社会人としての
心づもりやメンタルサポートなど
の研修を強化したい

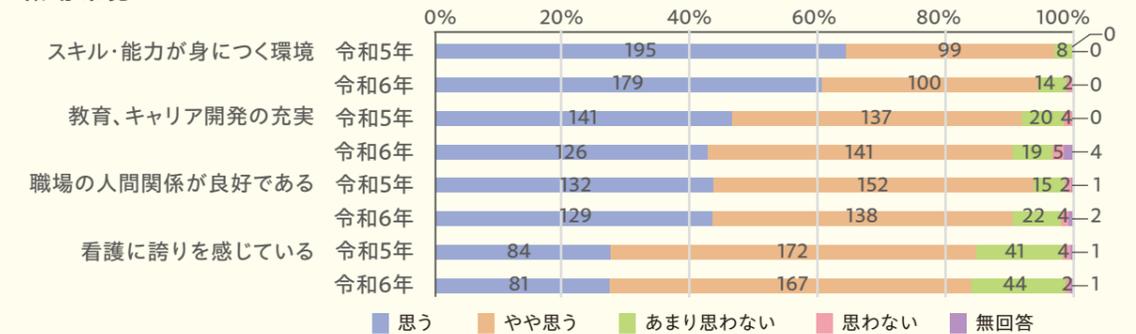
今年の1年生は研修等の
学びを活かしている

新人看護職員アンケートから

01 職場(生活)について 令和5・6年度新人看護職597名(302名+295名)の集計結果

- 配属部署は、病棟526名(88.1%)ICU/救急44名(7.4%)手術室17名(2.9%)その他5名(0.8%)無回答5名(0.8%)
- 部署内に同期がいる人は、512名(85.8%)同期がいない人は、82名(13.7%)無回答3名(0.5%)
- 夜勤があるのは、547名(91.6%)なし44名(7.4%)無回答6名(1.0%)
- 住居で同居人がいる人は356名(59.6%)一人暮らし(寮・アパート等)223名(37.4%)無回答18名(3.0%)

職場環境



02 令和5・6年度 仕事の悩みとその対応

02-1

	① 辛いと思ったこと 悩んだこと	② 相談相手	③ ストレス解消法
1位	能力不足	同期新人	睡眠・休養
2位	医療事故への不安	友達	友達と会う
3位	人間関係	家族	趣味を楽しむ
4位	時間外が多い	プリセプター	食事に行く
5位	学習が負担	部署の先輩	家族に会う

※①~③まで5年連続同順位(R2~6年)

02-2 仕事のやりがい

④ 仕事のやりがい
お礼や感謝の言葉をもらう事
成長の実感
周囲から認められる事
報酬
目標達成

03 2年目の目標

令和5年度



- 患者のニーズを考え、本人の望む生活を送れるように支援していきたい
- コミュニケーション能力を養い、患者と良好な関係が築けるよう努力する
- 1年目は覚えることで精いっぱいだったため、2年目は疾患の勉強をもっとして、患者さんの看護についてより深く考えることが出来るようにしていきたい

令和6年度



- カンファレンスで自分の意見を発言し、看護を深めたい
- 緊急時の対応が出来るようになる
- 現時点で自信のない手技を出来るようにしていく
- 受け持ち患者の計画・立案や評価を実行できるようにする
- 業務に対して慎重かつスピードを求めて業務を行いたい